

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

2018 AUTOBACS SUPER GT Report

FUJI GT 500km RACE

第2戦 富士スピードウェイ

ZENT CERUMO LC500

#38 立川祐路／石浦宏明

◆5月3日（金） QUALIFY

公式予選総合結果 7位



雨のため大荒れとなった展開のなか、きっちりとポイント獲得を果たした第1戦岡山から約半月ほど。2019年のSUPER GTは、ゴールデンウィーク恒例の一戦となる富士スピードウェイでの第2戦を迎えた。元号も“令和”に変わり最初のレースとなるこのラウンドは、

LEXUS TEAM ZENT CERUMOにとっても地元レース。例年好結果を残しており、チームとしても上位を狙いたい一戦だ。

前日から徹夜で並ぶファンもいるなど、多くのファンが訪れ迎えた5月3日（金）の公式予選日は、行楽日和といえる快晴の下で迎えた。富士山が顔を出すなか、午前8時50分からの公式練習でコースインした ZENT CERUMO LC500 のステアリングを握ったのは立川祐路だ。

第1戦岡山でも非常にフィーリングが良かった ZENT CERUMO LC500 は、この富士スピードウェイでも好調。その感触を確かめた立川は、コースインしてから6周目に1分28秒999というベストタイムをマーク。石浦宏明に交代する。石浦も同様に ZENT CERUMO LC500 の好印象を確かめ、16周をこなした。その最後には1分28秒153というタイムをマークし、公式練習は2番手と好位置で終えることになった。

ZENT

LEXUS

TRD

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

WAKOS

asics

BERSEI

Jms

T-SELECT

TAMACHI

CABANA

トヨタ東大

EBS

SHOWA
BRAKE FLUID

ADV
MECHANICAL WEAR

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

ただ、LEXUS TEAM ZENT CERUMO にとって悩みとなっていたのは、午後の公式予選に向けたタイヤ選択だ。当然公式予選で装着したタイヤのうち、1セットは決勝レースでも使用しなければならないことから、500km という長丁場のレースで、硬めのタイヤ選択も視野に入れなければならない。とはいえ、予選で前のグリッドにつけるには軟らかめのタイヤも使いたい。ふたりのドライバーと村田卓児エンジニアは、公式練習とサーキットサファリの時間も使ってタイヤ選択を試し続けた。



午後2時50分からスタートした GT500 クラスの公式予選 Q1 は、午前に続き晴天のもと迎えた。ステアリングを握ったのは石浦だ。LEXUS TEAM ZENT CERUMO は公式練習でさまざまなトライを行った結果、Q1 を軟らかめ、Q2 を硬めのタイヤで挑むことになる。軟らかめのタイヤを履いた石浦は、計測2周をウォームアップに使うと、3周目に1分27秒740というタイムをマーク。その時点でのトップに浮上した。

その後#3 GT-R、#37 LC500 がタイムアップし ZENT CERUMO LC500 は3番手で Q1 を終えることになるが、石浦はしっかりと仕事を果たし、第1戦岡山で Q2 に繋げなかった雪辱を果たした。



午後3時33分からスタートした Q2 の担当は立川。戦略上硬めのタイヤを選択した立川だが、周囲はよりタイムが出る軟らかめのタイヤを選んでいたので、立川はしっかりと1分27秒756というタイムでアタックを決めるも、周囲はさらに速いラップを記録。最終的に#3 GT-R が四輪脱輪によるベストタイム抹消となったことからひとつポジションを上げたものの、ZENT CERUMO LC500 は7番手から5月4日の決勝レースを戦うことになった。

ZENT

LEXUS

TRD

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

WAKOS

asics

BERSEI

Jms

T-SELECT

TAMACHI

CABANA

トヨタ東大

EBS

SHOWA
BRAKE FLUID

MD
MECHANICAL WEAR

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

とは言え、ZENT CERUMO LC500 が採った戦略上の結果での予選 7 番手だけに、チームはまったく悲観もしていない。むしろ ZENT CERUMO LC500 のパフォーマンスは上位を十分に狙えるものだ。負けられない地元戦で、LEXUS TEAM ZENT CERUMO は一丸となって 500km の長丁場に挑んでいく。

ドライバー／立川祐路

「公式練習からクルマのフィーリングは良かったです。ただ 2 種類のタイヤを持ち込んでいますが、その選択に悩むことになりました。公式予選に向けて硬めのタイヤをチョイスしていたのですが、予選順位を考え、Q1 を軟らかめのタイヤにすることになりました。僕が担当した Q2 は厳しい予選になってしまったかもしれませんが、チームの戦略としては最低限の結果になったと思っています。決勝レースは予選で選んだ結果がプラスになるとしますので、順位を上げられるよう頑張りたいですね」



ドライバー／石浦宏明

「今回も持ち込みの状態からクルマの状態はとても良く、公式練習から予選まで大きなセッティング変更もしていません。ただ今回についてはタイヤ選択がとても難しく、その点だけ悩みながら GT500 クラスの専有走行でアタックをし、2 番手につけることができました。いろいろなことを検討した結果、公式予選では Q1 と Q2 で違うタイヤチョイスをするかたちになりましたが、Q1 では軟らかめのタイヤだったこともあり、セクター 1 でロスがあったものの、しっかりと立川選手に繋ぐことができました。Q2 ではタイヤのこともあり立川選手にとっては苦しい予選になりましたが、決勝レースに向けていい方向に繋がると判断しての結果なので、しっかりと決勝レースの結果に繋がりたいと思っています」



立川祐路総監督

「第 1 戦岡山からチームの頑張りのおかげでクルマの調子も良く公式練習を始めることができました。ただそのなかでタイヤ選択に悩むことになりましたが、



LEXUS TEAM ZENT CERUMO

午前のフィーリングの結果と予選 Q1 突破の重要性を考え、2 種類のタイヤを使う戦略を採ることにしました。Q2 は厳しくなりましたが、戦略としては良かったと思っています。抽選の結果、レースでは Q1 で使用したタイヤでスタートすることになりましたが、石浦選手からのコメントも良かったので、プラスに働いていると思います。レクサス勢にとって第 1 戦岡山は厳しい戦いになりましたが、この富士はレクサスにとっていちばんチャンスがあるコースだと思っています。明日はチーム一丸となって挑みます」

村田淳一監督

「公式練習でのタイヤ選択が結果的に、公式予選で確実な方向に繋がったと思っています。予選の結果としては 7 番手ですが、決勝レースに向けてはいいポジションにつけることができました。また、第 1 戦岡山からこの第 2 戦富士に向けて、TRD がいろいろなアップデートを施してくれた結果が、このレクサス勢全体の予選順位に繋がっていると思っています。皆さんに感謝したいですね」



ZENT

LEXUS

TRD

BRIDGESTONE

PMU
RACING PADS

WAKOS

asics

BERSE

Jms

T-SELECT

TAMACHI

CABANA

トヨタ東大

EBS

SHOWA
BRAKE FLUID

MECHANIC WEAR

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

公式予選結果表

Rank	Car No.	CarName	Q1 Time	Q2 Time
1	23	MOTUL AUTECH GT-R	1'27.987	1'26.871 R
2	37	KeePer TOM'S LC500	1'27.499	1'27.105 R
3	12	カルソニック IMPUL GT-R	1'28.156	1'27.289 R
4	16	MOTUL MUGEN NSX-GT	1'28.271	1'27.402
5	39	DENSO KOBELCO SARD LC500	1'28.190	1'27.673
6	17	KEIHIN NSX-GT	1'27.888	1'27.690
7	38	ZENT CERUMO LC500	1'27.740	1'27.756
8	3	CRAFTSPORTS MOTUL GT-R	1'27.492	1'27.765
9	6	WAKO'S 4CR LC500	1'28.308	
10	8	ARTA NSX-GT	1'28.351	
11	36	au TOM'S LC500	1'28.457	
12	1	RAYBRIG NSX-GT	1'28.486	
13	24	REALIZE CORPORATION ADVAN GT-R	1'28.714	
14	19	WedsSport ADVAN LC500	1'28.838	
15	64	Modulo Epson NSX-GT	1'29.309	

※"R"マークの車は、コースレコードを更新。従来のレコードタイムは 1'27.366

ZENT

